

第 73 号

お茶の水女子大学学報

昭和 54 年 1 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令..... 1

学内規程..... 1

人事..... 2

学事..... 3

諸報.....11

海外渡航.....11

秋の叙勲.....11

永年勤続者の表彰.....11

昭和53年度奨学金の授与について.....11

昭和54年度国際研究集会派遣研究員の募集に
ついて.....12

昭和53年度バス旅行の実施について.....12

昭和53年度教職員ソフトボール大会の実施に
ついて.....12

計報.....13

新任者住所.....13

職員の住所変更.....13

住居表示変更.....13

日誌(抄).....13

関係法令

【 省 令 】

○大学院設置基準の一部を改正する省令（文部省令第42号、11月9日官報）

【 規 則 】

○初任給調整手当の一部を改正する規則（人事院規則9-34、12月25日官報）

○管理職員等の範囲の一部を改正する規則（人事院規則17-0、12月28日官報）

学 内 規 程

○お茶の水女子大学規則第14号

お茶の水女子大学理学部核燃料物質計量管理規程を次のように定める。

昭和53年12月20日

お茶の水女子大学長 市 古 宙 三

お茶の水女子大学理学部核燃料物質計量管理規程

（目 的）

第1条 この規程は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（以下「法律」という。）第61条の8第1項の規定に基づいて本学部における法律第61条の3第1項に定める国際規制物資の使用の承認を得た全ての核燃料物質の計量及び管理（以下「計量管理」という。）に関する重要事項を定め、もって適正な計量管理制度の確立を図ることを目的とする。

（計量管理責任者）

第2条 本学部における核燃料物質の計量管理のために計量管理責任者を置くものとする。

2 本学部における計量管理は、計量管理責任者の責任のもとに行う。

（物質収支区域の設定）

第3条 本学部における物質収支区域（以下「MBA」という。）は、全体をもって設定し、計量管理はこのMBAを基礎として行う。

2 本学部のMBAの符号はKG-Rとする。

（受入れ、払出し及び廃棄に関する手続）

第4条 計量管理責任者は、核燃料物質の受入れ、払出し及び廃棄に立合い、当該受入れ、払出し又は廃棄の数量をそのつど記録するものとする。

（消耗、希釈等に関する手続）

第5条 計量管理責任者は、核燃料物質が消耗・希釈等により減少した場合には、当該数量を毎年1月1日から6月30日までの期間及び7月1日から12月31日までの期間について確定し、記録するものとする。

(事故損失に対する手続)

第6条 計量管理責任者は、事故により核燃料物質の損失が生じたとき又は生じたときとみなされたときは、そのつど数量を確定し、記録するものとする。

(記録)

第7条 計量管理責任者は、第4条、第5条並びに第6条の記録を作成し、作成後10年間に本学部に保存することとする。

2 記録には次の各号に定める事項を記録するものとする。

- 一 在庫変動の日付
 - 二 在庫変動の原因
 - 三 受入れ及び払出し事業所名又はMBA名
 - 四 供給当事国
 - 五 劣化ウラン、天然ウラン及びトリウムの重量
- (報告)

第8条 計量管理責任者は、法律第67条及び国際規制物資の使用に関する規則第8条の規定に基づく毎年1月1日から6月30日までの期間及び7月1日から12月31日までの期間の報告書が、当該期間の経過後1月以内に科学技術庁長官へ提出されていることを確認するものとする。

附則

(施行期日)

この規程は、本規程の承認の日をもって施行する。

(承認の日=昭53.12.15)

人 事

◎人事異動

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
53.11.16		井上ゆかり	文部技官(文教育学部附属小学校栄養士)に採用する
(昇任)			
53.11.1	文部教官(東京大学助手農学部)	倉田 忠男	助教授家政学部へ昇任させる
(配置換)			
53.11.16	文部事務官(事務局長)	久野 秀嗣	国立中央青年の家所長に配置換する
〃	文部事務官(神戸商船大)学事務局長)	池田 国男	事務局長に配置換する
(休職)			
53.12.10	文部教官(文教育学部附属小学校養護教諭)	内藤佳世子	育児休業を許可する 育児休業の期間は昭和53年12月10日から昭和54年10月27日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(辞職)			
53.11.11	文部技官(文教育学部附属小学校栄養士)	桑原 美雪	辞職を承認する
(臨時的任用)			
53.12.10		星合 昌子	文部教官(文教育学部附属小学校養護教諭)に臨時的に任用する 任期は昭和54年10月27日までとする
(任用更新)			
53.11.1	文部技官(文教育学部附属小学校栄養士)	井上ゆかり	臨時的任用を更新する 任期は昭和53年11月11日までとする
53.11.3	文部教官(文教育学部附属小学校養護教諭)	星合 昌子	臨時的任用を更新する 任期は昭和53年12月9日までとする

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
53.11.16		森 邦子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
53.12.1		河上 睦子	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
〃		俵田 春江	〃
〃		米山 文明	〃
〃		藤山 常毅	講師(理学部)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
(併任)			
53.12.1	東京大学助教授	生嶋 明	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和54年3月31日までとする
(併任解除)			
53.11.17	筑波大学教授	藤田 純一	講師(理学部)の併任を解除する

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
53.11.1		轟 洋子	事務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
〃		藤田 和子	教務補佐員(理学部)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
53.11.16		加藤 典子	事務補佐員(女性文化資料館)に採用する 任期は昭和54年3月31日までとする
(任用更新)			
53.11.16	事務補佐員(文教育学部)	曾田 益民	任用を更新する 任期は昭和54年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(辞職)			
53.11.15	事務補佐員 (女性文化資料館)	渡辺 邦子	辞職を承認する
〃	教務補佐員 (文教育学部)	島田 早苗	〃
53.12.16	〃	小池 明美	〃

学 事

○ 昭和54年度お茶の水女子大学学生募集要項

1. 学科別募集人員

文教育学部	哲学科	史学科	地理学科	国文学科	外国文学科			教育学科			人員計
					中国文学 中国語学	英文学 英語学	仏文学 仏語学	教育学 専攻	表体 育専攻	現学 攻	
	20	20	20	30	10	30	5	35	15	12	197
理学部	数学科		物理学科		化学科		生物学科		計		
	20		20		20		25		85		
家政学部	児童学科		食物学科		被服学科		家庭経営学科		計		
	35		32		30		28		125		

2. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和54年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和54年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

1. 出願カード 本学所定のもの。
2. 昭和54年度共通第1次学力試験成績請求票(国公立大学用) 出願カードに貼付すること。
3. 調査書 出身学校長が作成し厳封したもの。
大学入学資格検定合格者は合格成績証明書(文部省発行)を提出する。
4. 健康診断書 昭和53年3月高等学校卒業者及び昭和54年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。ただし、上記以外の者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない)を提出する。
5. 検定料7,000円 「郵便為替」とし受取人指定欄にお茶の水女子大学と書く。
6. 受験許可書 他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出する(様式は特に定めない)。
7. 受験票返送用封筒 50円切手貼付の封筒(23.5cm×12cm)に受信先を明記したもの。

(2) 出願方法

1. 出願書類等の提出は郵送に限る。必ず書留にすること。
2. 出願書類等の郵送は、志望学部事務部あてとし、本学所定の封筒を用い、1封筒1願書に限る。封筒下欄の志願者欄に、住所、氏名、志望学科及び専攻名等を明記すること。

注 本学では出願書類を受理すると「受験票」と「受験者心得」を直ちに返送しているため、願書発送後10

日間たっても未着のときは志望学部事務部に問い合わせること。

4. 出願期間

昭和54年2月9日(金)～2月15日(木) 締切日までの消印があれば有効

5. 第2次学力検査

(1) 期 日 3月4日(日)〔5日(月)は実技検査〕

(2) 学力試験

志願する学部・学科	試験科目	備考
文教育学部	現代国語、古典Ⅰ乙 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	教育学科 表現体育学専攻と 教育学科 音楽教育学専攻の 志望者にはほかに実技検査を行う
理学部 数学科 物理学科 化学科 生物学科	数学科 数学Ⅰ、数学ⅡB、数学Ⅲ 物理学科 数学Ⅰ、数学ⅡB、物理Ⅰ・Ⅱ※ 化学科 数学Ⅰ、数学ⅡB、化学Ⅰ・Ⅱ 生物学科 数学Ⅰ、数学ⅡB、生物Ⅰ・Ⅱ※	第一志望学科について決められた科目を受験すること
家政学部	数学Ⅰ、数学ⅡB 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	児童学科を第一志望とする者には小論文を課す

※理科については高等学校学習指導要領中、物理は物理Ⅱの「内容」(72、73頁)のうち「(4)原子の構造」を除く。

生物は生物Ⅱの「内容」(80頁)のうち「(1)生命現象と分子」及び「(3)生物の進化」を除く。

(3) 実技検査

○表現体育学専攻志望者(第一志望、第二志望とも)に次の二種の検査を行う。

- ① ダンス(全員共通)……与えられた基礎運動及び創作
- ② スポーツ(次のうち、1種目を選択)
 - ア. 陸上競技(短距離走及び走幅跳)
 - イ. 器械運動(平均台運動及びマット運動)
 - ウ. 新体操(手具運動)
 - エ. バレーボール
 - オ. バスケットボール
 - カ. 硬式テニス又は軟式テニス
 - キ. 卓球
 - ク. バドミントン

○音楽教育学専攻志望者(第一志望、第二志望とも)に次の検査を行う。

- ① ソルフェージュ(全員に課する)
 - ア. 聴音: 1～4声部
 - イ. 新曲視唱
 - ウ. 器楽: J.S. バッハ作曲の鍵盤音楽(約3分以内)から自由選択し、ピアノで演奏すること。なお、希望者はピアノの他に邦楽器の演奏を加えてもよい。
- ② 演奏(志望する者のみ)〔願書の志望欄に必ずア又はイを明記すること〕
志望する者は、次のア・声楽 イ. ピアノのいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
なお、志望しない者は、いずれをも演奏する必要はない。

ア. 声楽

下記のi)、ii) からそれぞれ1曲、計2曲を自由選択。

i) 歌曲(移調も可)

ii) アリア(原調に限る)

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜(複写譜も可)に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。

イ. ピアノ

下記のi)、ii) のいずれか一方を選択。くりかえしはしないこと。

i) ベートーベンのソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）。

ii) ショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択。

(4) 小論文

児童学科を第一志望とする者には小論文を課す。

与えられた課題について、所定の600字詰タテ書き原稿用紙3枚以内に論述させる。

6. 第2次学力検査日時割

学部 学科・専攻等		日時・ 教科目等			3月4日（日）		3月5日（月）		
		国語・数学	数学・理科・外国語	小論文	実技				
文 教 育 学 部	表現体育学 音楽教育学 以外の学科専攻	国語 10:00～11:40	外国語 13:10～14:50	/	/	/	/	/	
	表現体育学 音楽教育学								実技 10:00～
理 学 部	数 学 科	数学 10:00～11:40	数学13:10～14:50	/	/	/	/	/	
	物 理 学 科		物理13:10～14:50						
	化 学 科		化学13:10～14:50						
	生 物 学 科		生物13:10～14:50						
家 政 学 部	児 童 学 科	数学 10:00～11:40	外国語 13:10～14:50	/	/	/	/	/	
	食 物 学 科								小論文 15:20～17:00
	被 服 学 科								
	家 庭 経 営 学 科								

7. 検査場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚2丁目1番1号）

8. 合格発表及び入学手続等

- (1) 合格決定 学力検査（共通第1次学力試験・第2次学力検査）・調査書並びに健康診断書を総合して判定する。
- (2) 合格発表 3月17日（土）の午後。学内本部棟前に掲示するとともに合格通知書及び入学、入寮の関係書類を送付する。
- (3) 入学手続 4月4日（水）と5日（木）の2日間。
この間に手続をしない者は合格を取り消す。

9. 注意事項

- (1) 受験関係の問い合わせは志望学部事務部あてとし、必ず、往復はがきによるか、又は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。
- (2) 受験中の宿泊資料を希望する者は厚生課に照会されたい。

○ 昭和54年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻	8	英文学専攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学 }	8	教育学専攻	12
地理学専攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演奏学 }	10
日本文学専攻	8		
中国文学専攻	4		

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記該当の女子とする。

1. 大学を卒業した者、および昭和54年3月卒業見込の者
2. 学校教育法施行規則第70条の規定により、本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業（または見込）証明書
- (3) 推薦書 指導教官または主任教官等により作成されたもの（形式随意）
- (4) 調査書 大学院修士課程入学者選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさ名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、50円切手をはる。
- (8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料を添え、所定の期日までに本学に到着するよう提出のこと。郵送するときは書留郵便とし、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

検定料（10,000円）の送付は定額小為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ明記すること。

5. 出願期日・願書受付場所

- (1) 1月16日（火）から1月24日（水）までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし土曜日は午前11時30分まで。なお、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和54年1月24日以前の消印のあるものだけに限り受け付ける。
- (2) 受付場所 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 本学文教育学部事務部（地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車）

6. 選考期日・時間割および試験場所

- (1) 選考期日 昭和54年2月1日（木） 2日（金）
- (2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		2/1 筆記試験科目		2/2 口述試験	備考	
		外国語	専門科目 (13:00 ~15:00)			
哲学専攻	哲学	10:00~11:30 英・独・仏・ 中国語の中から 1か国語を選択 する。 ただし、中国 文学専攻志望者 が中国語を、英 文学専攻志望者 が英語を選択す ることはできな い。	哲学	および英・独・ 仏語のうち左記 外国語試験で選 択しなかった1 か国語	10:00~	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	倫理学		倫理学			
	美学		美学			
	社会哲学		社会哲学			
史学専攻	日本史学	中国語学および中国文学	日本史学	英語・英語学および英米 文学	10:00~	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	東洋史学		東洋史学			
	西洋史学		西洋史学			
地理学専攻		地理学				註ハ、参照
日本文学専攻		国文学および国語学				
中国文学専攻		中国語学および中国文学				学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
英文学専攻		英語・英語学および英米 文学				学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
教育学専攻		教育学・教育心理学のうち いずれか1科目選択、 および論文				学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
舞踊教育学専攻	舞踊教育学	舞踊学および論文 論文は志望する講座出題 の課題を選択する。	舞踊学	10:00~ 舞踊実技を課す ることがある。	10:00~ 演奏を課するこ とがある。	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	遊戯学					
	動作学					
	音楽学					
	演奏学	西洋音楽史または日本音 楽史				

註 イ. 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ. 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行なう。

ハ. 地理学専攻の筆記試験には学士論文もしくは、これに準ずる研究の要旨記述を含ませることがある。

ニ. 学士論文(上記、提出を指示された専攻志望者のみ。)を提出できない事情のある者はその旨申し出ること。

ホ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

7. 検定料・入学科および授業料 検定料 10,000円 入学科 60,000円 授業料(年間) 144,000円

8. 合格者発表

合格した者には昭和54年2月9日(金)午後、本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

9. 注意事項

(1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。

(2) 出願手続後はどんな事情があっても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。

(3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

昭和53年12月

〒112 東京都文京区大塚2丁目1の1

お茶の水女子大学

電話：東京(03)943-3151(大代表)

○ 昭和54年度お茶の水女子大学大学院

理学研究科修士課程学生第2次募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び昭和54年3月卒業見込の者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目	専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
物理学	数名	2月2日(金) 9:20~10:50	一般・基礎教育科目 (物理学)	化学	数名	2月2日(金) 11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露の うちから2か国語) を選択
		11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露の うちから2か国語) を選択			13:30~	口述試験
化学	数名	2月1日(木) 10:30~12:00	一般・基礎教育科目 (化学及び*「物理学」 又は「生物学」)	生物学	数名	2月2日(金) 11:00~12:30	外国語 (英・独・仏・露の うちから2か国語) を選択
		13:00~16:00	専門科目(化学)			13:30~16:30	専門科目(生物学)

*物理学又は生物学のうち1科目を選択すること。

ただし、志望区分「化A」「化F」志望者は第1志望・第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

4. 出願期間

昭和54年1月10日(水)から1月20日(土)まで。

郵送する場合は、必ず書留として「大学院入学願書」と朱書し、1月20日(土)までに必着のこと。

5. 出願手続

(1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部
 ①112 東京都文京区大塚2丁目1の1
 電話：東京(03)943-3151(大代表)

イ 時間 平日は午前9時から午後3時まで
 土曜日は午前9時から11時30分までただし、1月13日(土)は受付をしない。

(2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
- イ 卒業(又は見込)証明書
- ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
- エ 調査書(本学所定の用紙)
- オ 検定料 10,000円 現金又は郵便為替
- カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。
(様式随意)

キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、50円切手をはった定形郵便物用封筒を同封する。

6. 合格者の発表

- (1) 2月7日(水)午後の予定。理学部1号館内に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、昭和54年3月中旬に送付する。

7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学料 60,000円、授業料 年額 144,000円

8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、60円切手をはった定形郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手添付)を同封し、必ず返信先を明記すること。

9. 大学所在地案内

- 都営バス 大塚2丁目停留所前
 地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分
 地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩約5分

○ 昭和54年度お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名及び募集人員

- 比較文化学専攻 16名
 人間発達学専攻 10名
 人間環境学専攻 9名

2. 修業年限 3年

3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 修士の学位を有する者(昭和54年3月修士の学位を得る見込みの者を含む)
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付する。
- (2) 修士課程修了(見込)証明書
- (3) 調査書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (4) 健康診断書 公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (5) 写真2葉 出願3カ月以内撮影の正面上半身バック無地のもの(4.5cm×5.5cm)を願書指定欄にはること。
- (6) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者は当該大学長の許可書とする。

上記書類を一括し、入学検定料10,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替(受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること。)とし、同封の上、出願期間内(締切日の消印有効)に到着するよう書留郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科願書在中」と朱書き、返信用封筒(あて先を明記し、250円切手貼付)を同封すること。

5. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 昭和54年1月16日(火)から1月27日(土)まで。
 日曜日を除き、午前9時から午後3時まで。ただし、土曜日は午前11時30分まで。

- (2) 願書受付場所 お茶の水女子大学 事務局庶務課 (本部棟3階)
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

6. 第一次試験

- (1) 選考期日 昭和54年2月3日(土)
(2) 試験内容 筆答試験 (論文・言語)
(3) 時間割

専攻名	2月3日(土)	
	10:00~12:00	13:00~15:00
比較文化学専攻	論 文	言 語 (英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ・日本古典語の中から2科目を選択すること。)
人間発達学専攻		
人間環境学専攻		

注 イ) 上記言語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。

ロ) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語については、辞書の使用を認める。

ハ) 日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。

- (4) 試験場所 お茶の水女子大学
(5) 第一次合格発表 昭和54年2月7日(水)学内に掲示する。

7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月8日(木)午後5時までに、本部棟3階庶務課大学院係に次の書類を提出すること。

- (1) 修士論文 1部 ただし、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を1部添付することができる。また、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、1部添付すること。なお、修士論文をもたない場合は、これにかわるもの1部
(2) 上記論文(主論文)の要旨 2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚におさめ、コピー10部
(3) 研究計画書 1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめ、コピー10部

8. 第二次試験

- (1) 選考期日 昭和54年3月1日(木)、2日(金)の2日間
(2) 試験内容 口述試験(主論文及び研究計画)
(3) 試験場所 お茶の水女子大学

9. 合格者発表

合格者には、昭和54年3月8日(木)午前本人に通知するとともに、学内にその氏名を掲示する。

10. 入学科及び授業料

入 学 料 60,000円

授業料(年額) 144,000円(前期 72,000円、後期 72,000円)

11. 注意事項

- (1) 同一年度に2専攻に出願することはできない。
(2) 出願手続後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払いもどしの要求には応じない。
(3) 出願について、不明のことがある場合は、庶務課大学院係に問い合わせられたい。
(4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

昭和53年12月1日

お茶の水女子大学
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
TEL (03)943-3151

諸 報

○ 海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 助 手	山 田 敦 子	連合王国 ドイツ民主共和国 ドイツ連邦共和国 オーストリア共和国 イタリア共和国 フランス共和国	昭和53年度社会体育指導者 海外派遣団に参加のため	53. 11. 3 53. 11. 27	研 修
理 学 部 手 助	芦 原 坦	連合王国	英国A.R.C.の研究者として 研究に従事するため	53. 11. 3 54. 9. 3	〃
理 学 部 手 助	大 島 裕 子	アメリカ合衆国	米国物理学会流体物理部門 会に出席論文発表のため	53. 11. 17 53. 11. 26	〃
理 学 部 助 教 授	細 矢 治 夫	アメリカ合衆国	ACS/CST化学会議の 準備のための第2回日米合 同組織委員会に日本側財務 委員として出席のため	53. 12. 3 53. 12. 9	〃
理 学 部 手 助	渡 辺 洋 子	フランス共和国 イタリア共和国 ベルギー王国	国際海綿生物学会議出席、 地中海産海綿の採集及び研 究交流	53. 12. 16 54. 1. 13	〃
文教育学部 教 授	中 山 時 子	インド	インドの古文化の遺跡の見 学と生活文化の研修	53. 12. 23 54. 1. 4	〃
文教育学部 教 授	柳 宗 玄	インド スリランカ共和国	仏教美術研究のため	53. 12. 24 54. 1. 8	〃

○ 秋の叙勲

昭和53年11月3日秋の生存者叙勲で、本学名誉教授松井勇氏が勲三等旭日中綬章を受章された。

○ 永年勤続者の表彰

昭和53年11月22日永年勤続者の表彰式が第2会議室において行われ、学長から受彰者に対して表彰状及び記念品が授与された。

今回の受彰者は、次の4名である。

文教育学部	教 授	外山滋比古
〃	〃	野島 秀勝
〃	〃	杉本 正哉
〃	〃	柿沼 利昭

○ 昭和53年度奨学金の授与について

昭和53年度奨学金受奨者が下記のとおり決定し、12月7日(木)、本部棟第一会議室で授与式が行われた。

◎ 成田・石山奨学金受奨者

所 属 ・ 氏 名	研 究 題 目
家政学部 被服学科 非常勤講師 田 村 照 子	被服設計に関する衛生・ 機構学的研究
家政学部 被服学科 研 究 生 渡 辺 紀 子	洗浄作用に関する研究

◎ 辻村・木原・松元・稲垣奨学金受奨者

所 属 ・ 氏 名	研 究 題 目
家政学部 食物学科 研 究 生 小 菅 充 子	外国産各種茶の香気特 性に関する研究
家政学部 食物学科 研 究 生 古 川 英	加熱調理に関する研究

◎ 松平奨学金受奨者

所 属 ・ 氏 名	研 究 題 目
家政学部 家庭経営学科 文 部 技 官 萱 沼 晶 子	家族類型別家計構造の 分析
家政学部 家庭経営学科 研 究 生 安 川 みどり	家計簿記の歴史的考察

○ 昭和54年度国際研究集会派遣研究員の募集について

文部省では、昭和54年度国際研究集会派遣研究員を次のとおり募集する。

1. 趣 旨

本制度は、海外で開催される学術的な国際研究集会に国立大学又は文部省関係機関の優れた研究者を派遣し、学術の国際交流に資するとともに我が国における学術研究の推進を図ることを目的とする。

2. 派遣対象となる国際研究集会

- (1) 海外で開催され、多数の国の研究者が参加するもの。
- (2) 国際的に権威のある学術団体又は学術研究機関の主催するもの。
- (3) 特定の主題について研究者が学術的発表及びそれに関する討議を行うことを直接の目的とするもの。

3. 資 格 等

- (1) 国立大学又は国立大学共同利用 機 関 の 長、教授、助教授、講師、助手
- (2) ア、現に専門とする分野で優れた研究成果を有すること。
イ、国際研究集会において招待講演若しくは研究発表を行うこと。又は座長になること等重要な役割を果たすこと。
ウ、国際研究集会における活動に必要な語学力を有すること。

4. 推 薦

各機関の長は、該当者がある場合には、次の期限までに文部大臣に推薦書を提出する。

「提出期限」

- ア、昭和54年4月1日～7月31日までの間に開催される国際研究集会
1月10日（水）まで
- イ、昭和54年8月1日～11月30日までの間に開催される国際研究集会
4月30日（月）まで
- ウ、昭和54年12月1日～昭和55年3月31日までの

間に開催される国際研究集会

9月10日（月）まで

5. 選 考

推薦のあった国際研究集会派遣研究員候補者については、提出期限によりそれぞれ2月・6月・10月中に選考を行い派遣者を決定し、これを推薦に係る機関の長に通知する。

6. 派 遣 期 間

派遣期間は、原則として、国際研究集会の開催期間（見学旅行を除く）に開催地への往復に要する日数を加えたものとする。

7. 応募方法等

応募者は、所定の用紙（各学部事務部にあります。）に必要事項を記入のうえ、次の区分によりそれぞれの期限までに庶務課に提出してください。

ア、昭和54年4月1日～7月31日までの間に開催される集会

締切済

イ、昭和54年8月1日～11月30日までの間に開催される集会

昭和54年4月14日（土）まで

ウ、昭和54年12月1日～昭和55年3月31日までの間に開催される集会

昭和54年8月18日（土）まで

○ 昭和53年度バス旅行の実施について

昭和53年度教職員レクリエーション事業の一環として、11月23日（木）勤労感謝の日に実施された。

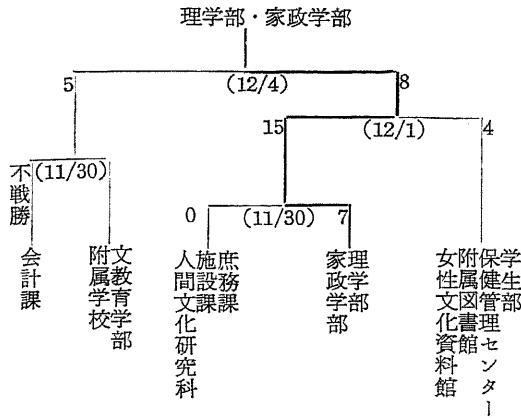
当日は、晴天に恵まれ新しい日本の空の玄関、新東京国際空港を見学した後、成田山新勝寺と佐倉宗吾の霊堂を拝観し、楽しい一日を過ごした。

○ 昭和53年度教職員ソフトボール大会の実施について

昭和53年度学内レクリエーション共同事業の一環として、大学グラウンドにおいて11月30日、12月1日、12月4日の3日にわたって熱戦が展開された。

優勝は、昨年に引き続き、理学部・家政学部チームとなったが、各試合の結果は次のとおりである。

ソフトボール大会対戦表



第1回戦 会計課不戦勝

	1	2	3	4	5	6	7	計
会計課								
文教育学部, 附属学校								

第1回戦 4回コールドゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	計
庶務課, 施設課, 人間文化研究科	0	0	0	0				0
理学部, 家政学部	0	4	0	3X				7

第2回戦 5回コールドゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	計
学生部, 附属図書館, 女性文化資料館	1	2	1	0	0			4
理学部, 家政学部	3	4	0	8	X			15

決勝戦

	1	2	3	4	5	6	7	計
会計課	1	0	0	2	0	2	0	5
理学部, 家政学部	3	0	5	0	0	0	X	8

計 報

○堀 七蔵名誉教授死去

東京女子高等師範学校名誉教授堀 七蔵氏には、去る11月18日逝去されました。享年92才。ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、同氏には、昭和50年生存者叙勲（高齢者）で勲三等旭日中綬章が授与されておりましたが、このたび生前の功績により正四位に叙せられました。

○ 新任者住所

○ 職員の住所変更

○ 住居表示変更

日 誌 (抄)

- 11月1日(水) 体育祭
- 2日(木) 教職課程委員会
- 6日(月) 学長候補者選挙管理委員会、学生委員会(持ち廻り)
- 7日(火) 入試委員会、放射線使用者に対する血液検査
- 8日(水) 学長候補者第2次選挙公示、教務委員会、第18回関東地区中堅係員研修(11月17日(金)まで)(於大手町合同庁舎)
- 9日(木) 部局長会議、研究指定校研究発表会(本学附属小学校)
- 10日(金) 第8回東京地区国公立大学入学主幹入試担当課長会議(於一橋大学)
- 11日(土) } 德音祭
- 12日(日) }
- 14日(火) 施設計画委員会、学生委員会、事務連絡会議、日本育英会(学部1年2次)奨学生選考委員会
- 14日(火) } 教職員一般定期健康診断(胃の検査)、教職員一般定期健康診断(第2回)
- 15日(水) }
- 15日(水) 臨時評議会、学長候補者第2次選挙、各学部教授会、理学・家政学研究科委員会
- 16日(木) 部局長会議、奨学金合同審査委員会
- 17日(金) 日本育英会大学院予約奨学生選考委員会
- 20日(月) 学生会館運営委員会

20日(月)}	昭和53年度留学生担当者研修会(於駒場留学生会館)		挙、各研究科委員会、各学部教授会、教職員の肝臓機能検査(文教育学部教官対象)、災害補償制度説明会(於大手町合同庁舎)
22日(水)}			
21日(火)	日本育英会奨学金返還説明会		
21日(火)}	昭和54年度大学入学者選抜共通第1次学力試験実施担当者会議(第2回)(於国立科学博物館)		
22日(水)}		14日(木)	部局長会議、教職員の肝臓機能検査(附属学校の教官対象)
22日(水)	評議会、永年勤続者表彰式	20日(水)	評議会、学生会館運営委員会
23日(木)	勤労感謝の日、学内共同事業のバス旅行(新東京国際空港、成田山新勝寺、宗吾霊堂)	21日(木)	学生委員会、学寮委員会、学寮協議会
24日(金)	学生委員会	21日(木)}	附属小学校海外子女教育学級検定・発表
25日(土)}	厚生補導関係教職員研究会(於箱根静雲荘)	22日(金)}	
26日(日)}		25日(月)	冬季休業始
27日(月)	任用実地監査(文部省)	28日(木)	御用納め
28日(火)}	第16回全国大学保健管理研究集会(於筑波大学)		
29日(水)}			
29日(水)	創立記念日、学生委員会(持ち廻り)		
29日(水)}	国立大学協会第63回総会(於学生会館)		
30日(木)}			
30日(木)	学寮委員会、学寮協議会、教職員ソフトボール大会		
12月1日(金)	入試委員会小委員会、教職員ソフトボール大会、国立大学協会第30回事務連絡会議(於学生会館)		
2日(土)	東京地区国公立大学体育大会実行委員会(於東京大学)		
4日(月)	学長候補者選挙管理委員会、留学生顧問教官会議(持ち廻り)、教職員ソフトボール大会		
5日(火)	附属学校運営委員会、事務連絡会議		
5日(火)}	サービス制度説明会(於大手町合同庁舎)		
6日(水)}			
6日(水)	学長候補者第2次再選挙公示、定例学生大会、院生総会、教職員の肝臓機能検査(理学部・家政学部教官対象)、昭和53年度人事事務研修(12月13日(水)まで)(於オリンピック記念青少年総合センター)		
7日(木)	部局長会議、予算委員会、奨学金授与式、教職員の肝臓機能検査(事務系職員)		
8日(金)	入試委員会		
11日(月)	学生会館運営委員会、教職課程委員会、教育実習委員会		
11日(月)}	健康安全担当研修会(於大手町合同庁舎)		
12日(火)}			
12日(火)	教務委員会		
13日(水)	臨時評議会、学長候補者第2次再選		